サラマンカbふらっと
上質な音楽を気楽に

SALAMANCA HALL

スペインの国民的詩人フェデリコ・ガルシア・ロルカの足跡をたどり
語りとピアノでつづる「スペイン」
「スペイン」～ヨーロッパでありながら
異なる色彩を放ち続けている土

ガルシア・ロルカ画
「ソピエタ」

サラマンカホール・コンサートシリーズ“手紙”そのV
石原佳世・岡崎章ピアノデュオ

スペインからの手紙
～その土と血～

2022.10/7［金］19:00開演（18:00開場）

サラマンカホール 岐阜市薮田南 5-14-53

全席指定 **1,000円**［サラマンカメイト:900円］

※未就学児の入場はご遠慮ください。※車いす席は、サラマンカホールチケットセンターのみの取扱いです。

サラマンカメイト先行発売:2022年7月7日［木］／一般発売:2022年7月14日［木］
＊ 電話・インターネット 9:00～／窓口 12:00～

語り：後藤卓也（劇団芝居屋かいとうらんま）

F.タレガ：アルハンブラの思い出
G.ビゼー/A.チェイシンズ：カルメン幻想曲
E.グラナドス：アンダルーサ
E.レクオーナ：マラゲーニャ
A.ピアソラ：アディオス・ノニーノ
P.グラス：《2台ピアノのための4つの楽章》より 第4楽章
M.ファリャ：《三角帽子》より “粉屋の踊り”
M.ファリャ：《恋は魔術師》より “火祭りの踊り”

※曲目は変更となる場合がございます。

主催：サラマンカホール

チケットのお求め
サラマンカホール チケットセンター
058-277-1110［9:00～21:30］

チケットのネット予約は公式サイト
「サラマンカ・オンラインチケット」で
サラマンカホール 検索

ご来場の皆様へ
新型コロナウイルス感染防止対策ご協力のお願い
本公演は、国・県・業界団体のガイドラインに則って開催いたします。
ご来場の際は、マスクの着用、手指消毒等のご協力をお願いいたします。
詳しくはサラマンカホール公式サイト、当日の館内掲示にてご確認ください。

ぼくが死ぬとしたら
バルコンはあけといてくれ
子どもがオレンジを食べている
バルコンからそれが見える
農夫がムギを刈っている
バルコンからそれが見える
ぼくが死ぬとしたら
バルコンはあけといてくれ

（ロルカ詩集より・
長谷川四郎訳・土曜社刊）

フェデリコ・ガルシア・ロルカ
(1898-1936)

ロルカは、もしピカソがいなければ世界的な画家になっていたでしょう。
ロルカは、もしファリャがいなければ世界的な作曲家になっていたでしょう。
しかし彼は、スペインのファシストによって38歳で殺されました。
流された彼の血は、アンダルシアの土に深く浸み込み詩となって湧き出してきます。

「あらゆる国では、死はひとつの終わりです。死がやってくると幕が引かれます。
でも、スペインではそうではありません。スペインでは幕が上がるのです」

石原佳世・岡崎章ピアノデュオ

学生時代からそれぞれソリストとして学び"ピアノの詩人ショパン"への憧れを胸に、ポーランドを代表する"ショパン弾き"であったハリーナ・チェルニー=ステファンスカ女史と、室内楽ピアニストのイェージー・ウコヴィッチ氏から薫陶を受けた。石原佳世は、第5回ヨーロッパ・ショパンコンクール(ドイツ・ダルムシュタット)の優勝など数々の国際コンクールに入賞。また岐阜県民栄誉賞、岐阜県芸術文化奨励賞などを受賞した。
W.ルトスワフスキ・フィルハーモニーホール(ポーランド・ヴロツワフ)でのピアノデュオによる演奏が、Gazeta Dolnośląska紙を始め多くの評論家たちに絶賛された。これが互いのピアノデュオの世界観を築くきっかけとなり現在に至っている。岡崎章によるピアノ連弾、2台ピアノへのトランスクリプション作品によっても独自の響きによる世界を余すところなく繰り広げ、各地でのコンサートを始め、サラマンカホール主催の【ピアノデュオコンサート・手紙シリーズ】でも個性あふれるピアノデュオの世界観とコトバとの融合を追求し好評を博している。ピアノ、ピアノ・アンサンブル奏法におけるレクチャーなど、精力的に後進の指導にも力を注いでいる。

語り：後藤卓也

劇団芝居屋かいとうらんま座長。
俳優、脚本家、演出家。1983年の劇団結成より参加し、ごく初期を除いて座付き作家、演出家。1998年「累～かさね」で池袋演劇祭に出品、審査会特別賞受賞。翌年には池袋演劇祭招待作品として東京芸術劇場で公演。以降毎年東京公演を行う。2018年大垣市市政100周年記念の市民創作劇「芭蕉殿、事件でござる～百年目の招待状」の台本演出。2020年下北沢演劇祭参加作品「弾丸黒子」がCoRich舞台芸術アワードで5276作品中28位にランクインを果たす。2022年8月大垣市民創作劇「あかねとおあむ～この街にさよならを言う前に」の台本演出を担当。現在、岐阜・東京を中心に演劇活動のほか、映像作品の製作など精力的に活動している。

台本演出：金子根古

サラマンカホールスタッフ。手紙シリーズの一回目から企画台本演出を担当。

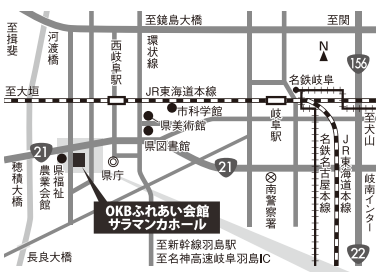
サラマンカメイトのご案内

特 典

- ●チケットの先行販売
- ●チケットの割引（1公演2枚まで）
- ●ダイレクトメールによるコンサートのご案内
- ●グッズコーナーでの割引

※お電話（058-277-1110 入会申込書を郵送）および、インターネットでも受付ております。
※年会費2,000円
※入会申込書は、サラマンカホール チケットセンターにご用意しています。
※年会費の口座振替もご利用ください。

交通アクセス・駐車場



自 動 車

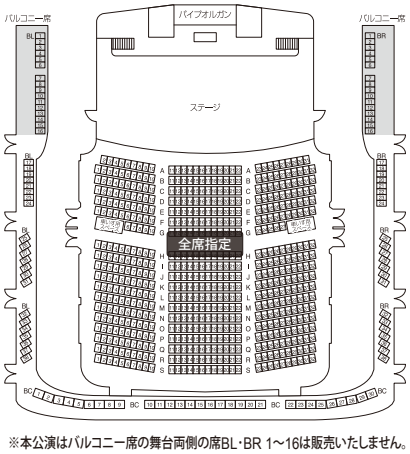
●JR西岐阜駅から車で約5分（南口タクシー乗り場より約2km）
●JR東海道新幹線・岐阜羽島駅および名神高速道路・岐阜羽島ICより車で約20分　●無料駐車場完備

終演後に西岐阜駅まで無料マイクロバスを運行します　正面玄関前（北側）から出発します。

公共交通機関

●JR岐阜駅（北口）より「岐阜バス」で約20分
●名鉄岐阜駅より「岐阜バス」で約25分
●JR西岐阜駅（南口）より「西ぎふ・くるくるバス」で約12分
●JR東海道本線・名古屋駅から西岐阜駅まで約23分

客席のご案内



※本公演はバルコニー席の舞台両側の席BL・BR 1～16は販売いたしません。